



「鬼は一そと！ 福はーうち！」

2月3日(火)、戸倉保育所で「節分の豆まき」が行われました。

はじめに、太鼓の音とともにオニのお面をつけた年長の子どもたちが入ってきて、「朝ごはんを食べてこねえ～子は、いねえ～があ～！」などと言って、小さい子どもたちに襲いかかってきましたが、「ちり紙で作った豆」で見事オニを退治。その後、保育所長による「本物の豆」を使った豆まきが行われ、子どもたちは、ホールを走り回ってたくさんの豆をひろい、みんなでなかよく自分の年の数だけ食べました。



税金の大切さを学ぶ

1億円を持ってきて「お、重い…。」



1月21日(水)、伊里前小学校で6年生の児童を対象とした「平成20年度租税教室」が行われました。租税教室は、南三陸町納税貯蓄組合連合会が主催して行っているもので、気仙沼税務署の職員が講師となって「税金の使いみち」などを分かりやすく説明しました。教室の終盤には「1億円」の見本が入った袋も登場し、子どもたちは実際に袋を持ってみて、お金の重みを身をもって体験しました。牧野美里さん(☎伊里前)は、「これからは、生活の中で税金のことをもう少し考えていきたいといます。」と、児童を代表して感想を述べました。

「力と技とチームワーク」

2月8日(日)、町総合体育館「ベイサイドアリーナ」で、第4回ジュニア綱引大会が開催され、町内の小学生21チーム・約250人が、綱引きによる熱戦を繰り広げました。

予選は、21チームを4つのブロックに分けたリーグ戦により行い、各ブロックの上位2チームが決勝トーナメントに進出し、優勝をかけて争いました。

2階の応援席からは、「気合い入れろー！」などと声援が送られ、子どもたちは必死になって綱を引っ張っていました。

大会の結果は次のとおりです。

【優勝】名足小マトリックス(名足小学校)

【準優勝】天下統一11(志津川小学校)

【第3位】ストロングファイター(伊里前小学校)

【敢闘賞】入小デコボコンズ(入谷小学校)



おもいっきり引っ張れー！



残念！負けるほうも豪快でした。



優勝した「名足小マトリックス」のみなさん

卓球愛好者延べ200人が熱戦！

1月25日(日)、ベイサイドアリーナにおいて「第4回南三陸町卓球選手権大会」が開催され、町内の方のもとより、町内出身者や町内に勤務する方など延べ200人の卓球愛好者が熱戦を繰り広げました。

この大会は、旧町時代から数えると33回目となる大会で、小学2年生から60歳代の幅広い年齢層の方が出場し、卓球が生涯スポーツであることを改めて認識しました。

各種目の優勝者は、次のとおりです。

【小学生シングルの部】

沼倉 巧大さん(志津川小6年)

【中学生男子シングルの部】

渡辺裕次郎さん(志津川中2年)

【中学生女子シングルの部】

首藤 知恵さん(志津川中2年)

【高校一般男子シングルの部】

小山千代人さん(宮城県職員)

【高校一般女子シングルの部】

佐藤 恵さん(☎大畑)

【男子ダブルスの部】

菅原 敬さん(神奈川県職員)

山内 直人さん(関東自動車社員)

【女子ダブルスの部】

山内あゆみさん(志津川高1年)

佐藤 未来さん(志津川高2年)

【ラージボールの部】

西城 彰さん(☎小森)

田村八重子さん(☎御前下)



「AEDが寄贈されました」

2月9日(月)、宮城県東部郵便局長会からAED(自動体外式除細動器)が町に寄贈されました。

宮城県東部郵便局長会は、東松島市から気仙沼市までの78局の郵便局長で組織されており、「地域に根ざした郵便局」をモットーに、海岸清掃などのボランティア活動を行い地域貢献事業を実施しています。

この日町長室を訪れたのは、雄勝郵便局の佐藤会長、上沼郵便局の及川理事、志津川郵便局の岡島郵便局長の3人で、「AEDを広く、公共的に使用してください。」と、町長にAEDを手渡しました。

町では、町内の公共施設へのAED設置を進めていますが、まだ未設置となっている箇所もあり、今回寄贈いただいたAEDは、志津川保健センターに設置することとしました。



おさかな通りで旬の味

1月25日(日)、志津川地区の水産関係の商店が並ぶ通称おさかな通りで、「寒鱈まつり」が開催され、寒いこの時期の旬の味であるマダラをはじめ、地元の特産品が特価で販売されたほか、「たら汁」や「特製カキお好み焼き」も無料で提供され、大勢のお客さんで賑わいました。

このお祭りは、地域商店街の皆さんが実行委員会を立ち上げて毎年開催しているもので、今年は、午前と午後には餅まきが行われたほか、志津川中学校野球部の皆さんがボランティアで参加し、元気な声で商品券を売り歩くなど、会場は活気にあふれていました。岩手県から訪れたというお客さんは「昨年来たときの「たら汁」の味が忘れられず、今年も来ちゃいました。」と、笑顔で話してくれました。

たら汁には、白子もたっぷり入っていました。